

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成25年8月9日

【四半期会計期間】 第116期第1四半期(自平成25年4月1日至平成25年6月30日)

【会社名】 株式会社ヨータイ

【英訳名】 YOTAI REFRACTORIES CO.,LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 馬場和徳

【本店の所在の場所】 大阪府貝塚市二色中町8番1

【電話番号】 (072)430-2100

【事務連絡者氏名】 常務取締役 江波二郎

【最寄りの連絡場所】 大阪府貝塚市二色中町8番1

【電話番号】 (072)430-2100

【事務連絡者氏名】 常務取締役 江波二郎

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第115期 第1四半期 連結累計期間	第116期 第1四半期 連結累計期間	第115期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (百万円)	5,288	5,031	20,357
経常利益 (百万円)	432	222	1,554
四半期(当期)純利益 (百万円)	271	145	852
四半期包括利益又は包括利益 (百万円)	190	316	1,184
純資産額 (百万円)	15,423	16,509	16,305
総資産額 (百万円)	21,706	21,877	21,926
1株当たり四半期(当期) 純利益金額 (円)	12.13	6.50	38.03
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	71.1	75.5	74.4

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループにおいて営まれている事業の内容に重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府・日銀一体となった財政・金融政策等により、円安・株高基調で推移し、輸出型企業を中心に収益の好転が見られました。しかし、当社グループも含めた内需型の製造業は、円安や電気料金引き上げにより上昇したコストを転嫁することは難しく、直面する事業環境は大変厳しい状況が続いてまいりました。

当社グループは、このような情勢下においても積極的な受注活動を展開するとともに、コスト削減や品質向上および新製品の開発に取り組んでまいりましたが、当第1四半期連結累計期間の売上高は50億31百万円と前年同四半期に比べ2億57百万円の減収となり、営業利益は1億56百万円と前年同四半期に比べ2億22百万円減少し、経常利益は2億22百万円と前年同四半期に比べ2億10百万円の減少となりました。

四半期純利益につきましては、1億45百万円と前年同四半期に比べ1億26百万円の減少となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

(耐火物等)

耐火物等事業につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は41億47百万円となり、前年同四半期に比べ3億39百万円の減収、セグメント利益は3億55百万円となり、前年同四半期に比べ2億28百万円の減少となりました。

(エンジニアリング)

エンジニアリング事業につきましては、当第1四半期連結累計期間の売上高は8億83百万円となり、前年同四半期に比べ81百万円の増収、セグメント利益は1億31百万円となり、前年同四半期に比べ25百万円の増加となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、218億77百万円であり、前連結会計年度に比べ49百万円減少しました。これは主として、受取手形及び売掛金の増加2億50百万円、投資有価証券の増加1億51百万円等があるものの、現金及び預金の減少4億28百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の負債合計は、53億67百万円であり、前連結会計年度に比べ2億54百万円減少しました。これは主として、繰延税金負債の増加57百万円等があるものの、未払法人税等の減少2億77百万円等によるものであります。

当第1四半期連結会計期間の純資産合計は、165億9百万円であり、前連結会計年度に比べ2億4百万円増加しました。これは主として、その他有価証券評価差額金の増加98百万円、為替換算調整勘定の増加70百万円等によるものであります。

この結果、当第1四半期連結会計期間の自己資本比率は75.5%となり、財政状態は概ね良好であると判断しております。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループの事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発費の総額は39百万円であります。

(5) 経営成績に重要な影響を与える要因及び経営戦略の現状と見通し

今後の経済の見通しにつきましては、国内景気に回復の兆しはありますが、円安による原燃料のコストアップや電気料金値上げなど、国内製造業に関わる問題は山積しております。一方、海外では米国経済は回復局面にありますが、他方、中国などの新興国経済の減速、欧州景気の低迷などによる不透明感はさらに増してくるものと思われれます。

このような状況から、耐火物業界は、今後さらに国際競争に打ち勝つべく、事業の改善を図っていく必要に迫られております。

当社グループといたしましては、将来を見据えた生産体制の強化を図り、新製品の開発及び技術力の向上を進めながら、多様化するニーズや国際的な潮流に対応しつつ、業績の向上に努めてまいります。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	70,000,000
計	70,000,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月9日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	25,587,421	25,587,421	東京証券取引所 市場第一部	単元株式数1,000株
計	25,587,421	25,587,421		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (千株)	発行済株式 総数残高 (千株)	資本金増減額 (百万円)	資本金残高 (百万円)	資本準備金 増減額 (百万円)	資本準備金 残高 (百万円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日		25,587		2,654		1,710

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(平成25年3月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 3,173,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 22,285,000	22,285	
単元未満株式	普通株式 129,421		
発行済株式総数	25,587,421		
総株主の議決権		22,285	

- (注) 1. 「完全議決権株式(自己株式等)」欄は、全て当社所有の自己株式であります。
2. 「完全議決権株式(その他)」欄には、証券保管振替機構名義の株式が3,000株(議決権の数3個)含まれております。
3. 「単元未満株式」欄には、当社所有の自己株式789株が含まれております。

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ヨータイ	大阪府貝塚市二色中町 8番1	3,173,000		3,173,000	12.40
計		3,173,000		3,173,000	12.40

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,113,901	1,685,538
受取手形及び売掛金	1 8,767,314	1 9,017,453
製品	2,138,413	2,121,954
仕掛品	309,448	319,986
原材料及び貯蔵品	1,667,839	1,717,230
その他	290,300	214,451
貸倒引当金	1,800	1,800
流動資産合計	15,285,417	15,074,814
固定資産		
有形固定資産	4,358,055	4,367,921
無形固定資産	58,541	61,296
投資その他の資産		
投資有価証券	2,092,433	2,243,444
その他	192,251	197,045
貸倒引当金	59,795	67,375
投資その他の資産合計	2,224,888	2,373,115
固定資産合計	6,641,486	6,802,332
資産合計	21,926,904	21,877,147

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,389,905	2,434,861
未払法人税等	287,009	9,368
賞与引当金	-	136,260
役員賞与引当金	22,400	5,580
その他	1,452,025	1,240,996
流動負債合計	4,151,340	3,827,066
固定負債		
退職給付引当金	1,060,020	1,079,086
その他	410,429	461,181
固定負債合計	1,470,449	1,540,268
負債合計	5,621,790	5,367,334
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,654,519	2,654,519
資本剰余金	1,750,465	1,750,465
利益剰余金	11,768,177	11,801,881
自己株式	558,740	558,799
株主資本合計	15,614,422	15,648,068
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	627,031	725,437
繰延ヘッジ損益	-	1,894
為替換算調整勘定	63,660	134,412
その他の包括利益累計額合計	690,691	861,744
純資産合計	16,305,113	16,509,813
負債純資産合計	21,926,904	21,877,147

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
売上高	5,288,536	5,031,284
売上原価	4,404,432	4,340,431
売上総利益	884,104	690,852
販売費及び一般管理費	505,682	534,745
営業利益	378,422	156,106
営業外収益		
受取利息	1,670	2,766
受取配当金	26,293	27,656
為替差益	15,320	22,776
その他	14,113	15,753
営業外収益合計	57,398	68,951
営業外費用		
支払利息	1,995	653
デリバティブ評価損	-	1,405
その他	1,309	963
営業外費用合計	3,304	3,022
経常利益	432,516	222,036
特別利益		
投資有価証券売却益	-	15,300
特別利益合計	-	15,300
特別損失		
固定資産除却損	347	0
投資有価証券評価損	7,089	-
特別損失合計	7,437	0
税金等調整前四半期純利益	425,079	237,336
法人税、住民税及び事業税	56,000	3,000
法人税等調整額	97,224	88,564
法人税等合計	153,224	91,564
少数株主損益調整前四半期純利益	271,855	145,772
少数株主利益	-	-
四半期純利益	271,855	145,772

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	271,855	145,772
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	141,721	98,406
繰延ヘッジ損益	-	1,894
為替換算調整勘定	60,575	70,752
その他の包括利益合計	81,145	171,053
四半期包括利益	190,709	316,825
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	190,709	316,825
少数株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、満期日に決済が行われたものとして処理しております。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形を満期日に決済が行われたものとして処理しております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
受取手形	71,060千円	79,805千円
支払手形		2,520千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	142,184千円	138,232千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成24年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	112,079	5.0	平成24年3月31日	平成24年6月28日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当の原資	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日
平成25年5月14日 取締役会	普通株式	利益剰余金	112,068	5.0	平成25年3月31日	平成25年6月27日

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,486,736	801,799	5,288,536
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	4,486,736	801,799	5,288,536
セグメント利益	584,118	106,241	690,360

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	690,360
セグメント間取引消去	
全社費用(注)	311,937
四半期連結損益計算書の営業利益	378,422

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		
	耐火物等	エンジニアリング	合計
売上高			
外部顧客への売上高	4,147,591	883,692	5,031,284
セグメント間の内部売上高 又は振替高			
計	4,147,591	883,692	5,031,284
セグメント利益	355,804	131,855	487,659

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	487,659
セグメント間取引消去	
全社費用(注)	331,553
四半期連結損益計算書の営業利益	156,106

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	12円13銭	6円50銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	271,855	145,772
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	271,855	145,772
普通株式の期中平均株式数(株)	22,415,709	22,413,465

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【その他】

平成25年5月14日開催の取締役会において、平成25年3月31日の株主名簿に記録された株主に対し、次のとおり期末配当を行うことを決議いたしました。

配当金の総額	112,068千円
1株当たりの金額	5.00円
配当の効力発生日	平成25年6月27日

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8 月 6 日

株式会社ヨータイ
取締役会 御中

有限責任監査法人 トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 松田茂 印

指定有限責任社員
業務執行社員

公認会計士 出田吉孝 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ヨータイの平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年6月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ヨータイ及び連結子会社の平成25年6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。